

令和八年度(二〇二六年度)試験問題

次の文章は、第19回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展における日本館の展示に際して、キュレーターを務めた青木淳氏の言葉です。

ここで言及されている「間」について、具体例を示しながらあなたの考えを述べなさい。

^{1.}幾何級数的なデジタル技術の進化のなか、ごく近い将来、生成AIが私たちの社会、環境、あるいは私たちの内面をも、まったく異なる様相に変えてしまうのではないかという不安が、現在、全世界を覆っています。とくに日本は、SNSなどデジタル技術の普及のなかで、ポリテイカルにコレクトで、ただミスや欠点がない、最大公約数的で凡庸な社会に向かって突き進んでいるように思われます。

たしかに生成AIから返ってくるのは、既存データの総合から導き出されたもつとも間違えの少ない回答で、私たちはついそれを「正解」と捉えがちです。しかし、その先に待っているのは、人間が生成AIに従う、生成AIが人間に代わって主体となる社会でしょう。

しかし、日本には、「間」という観念の歴史があります。「間」とは、古来、日常的な意味での「あいだ」である以上に、2つの事物の応答(対話)が孕むテンションであり、そのテンションのふるまいがひとつの虚なる主体として潜在するという観念でした。

この伝統に倣うなら、主体を人間に置くのでも、生成AIに置くのでもなく、そのあいだの虚なる「中立点」つまり「対話」に主体を指定^{3.}することに賭けてみる価値があると考えられますし、ここで提案するのもまさにその試みの実践です。人間も間違えるし、生成AIも間違える。その間違えと間違えとのやりとりのなかから、それらどちらにも属さない創造的な「つくること」が生まれるのではないか。まだ生成AIが播^{4.}監期にあるうちに、生成AIとの生産的な付き合い方を確立し、それを今後の生成AIの進化の方向付けに役立てられないか、というのが狙いです。

今回は、「日本館」そのものをその試みの対象とします。生成AIを「日本館」を構成する複数の部位に憑依させ、それら生成AIとのギクシャクした対話のなかから、「日本館」をフィクションに、またアクトチュアルに「改装」することを通して、人間と生成AIの「中立点」という主体を浮かび上げようとするものです。

注1. ある事物、事象が、常に前の場合の何倍かをかけた数に増える、すなわち幾何級数(等比級数)のように増える傾向にあるさま。

注2. その中に含み持つ。

注3. ある事物・事象を存在するものとして立てたり、

その内容を抽出して固定する思考作用。

注4. 物事の発展する初期の段階。

(第19回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館 リリーステキストより)

※題名欄には題名を記入すること。

※字数 八〇〇字

※時間 八〇分

●試験内容に関する質問には応じない。

●この問題用紙はメモに利用しても良いが、試験終了後回収する。

令和八年度 (2026年度)

実技試験問題

発声 一 【次の内容をはっきりと述べてください。】

受験番号 () 番 () 氏名 () です。

出身は () 都道府県名 () で、学校は () 学校名 () 高校を卒業する予定です。

年齢は、 () () 歳です。

発声 二 【次の文章を朗読してください。尚、() 内は朗読しなくて結構です。】

著作権の都合上、省略。

(「共演者からいい芝居を引き出す天才 山田洋次 キネマ旬報2017年9月上旬号」

キネマ旬報2025年11月号増刊)

動作 【次の内容をしぐさのみで表現してください。】

〔設定〕 駐輪スペースのある遊歩道を歩きながら、

スマートフォンで友達にメッセージを送っている。

後ろから、自転車がベルを鳴らしながら自分の横をすり抜ける。

間一髪当たらなかったが、その反動で左側に駐輪していた自転車にぶつかる。

自転車が倒れ、さらにその隣に駐輪していた自転車が次々と倒れる。

何事も無かったかのように去っていく自転車をしている。

倒れた自転車を起こす。

一人で起こしていると、前、後ろから歩いてきた人たちが手伝ってくれる。

全部起こし終えて歩いていく。

(そのまま退出してください)

2026年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻） 一般選抜 N 全学統一方式（第1期） 専門試験併用型入試

令和8年2月3日

実技試験問題

[内容] 5時間30分 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く



[モチーフ]

- コスチューム：スウェットシャツ、スウェットワイドパンツ、靴下
- 布を敷いたモデル台（白） × 1

以上

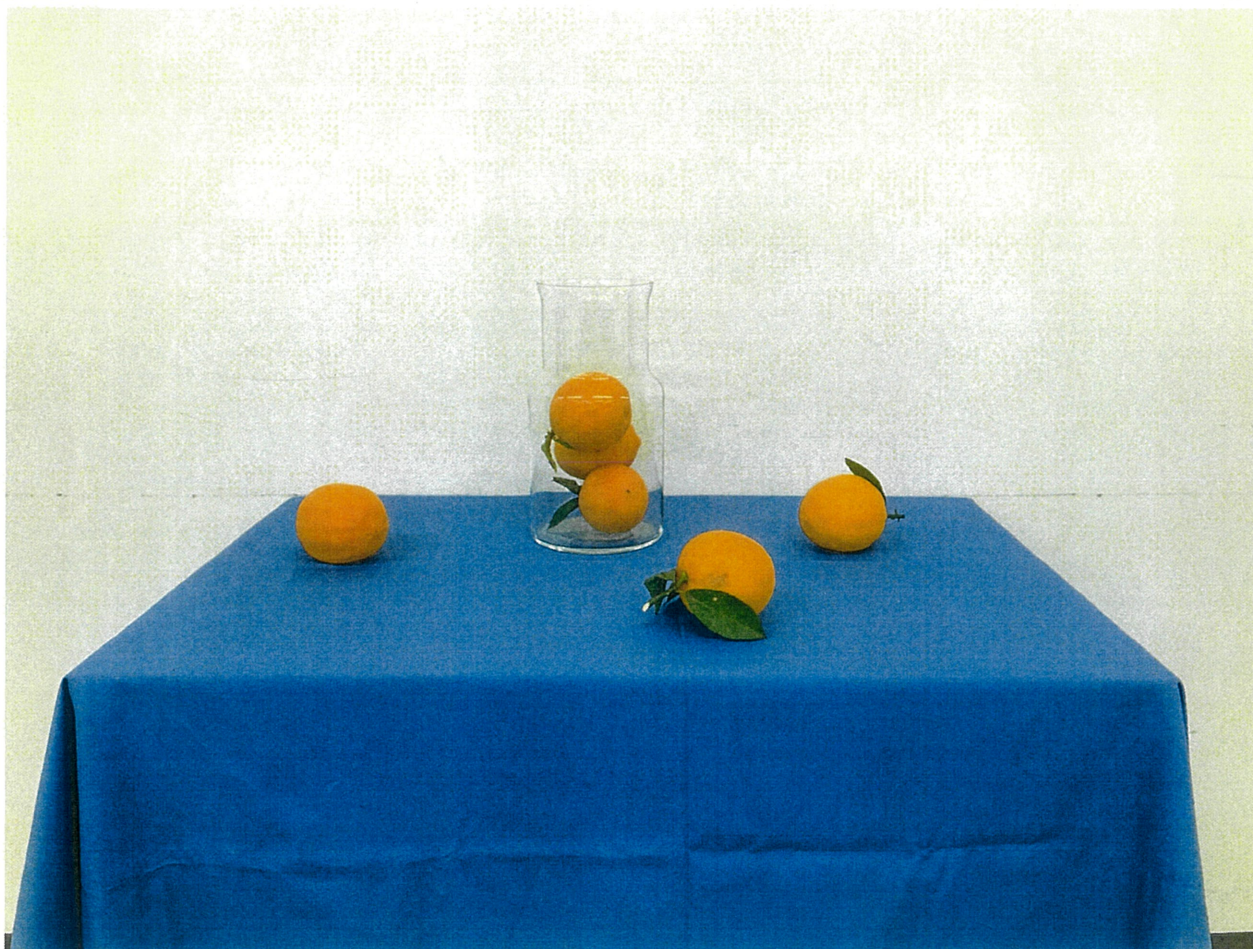
2026年度 美術学科

絵画コース(版画専攻) 一般選抜 N 全学統一方式(第1期) 専門併用型入試

令和8年2月3日

実技試験問題

[内容] 5時間30分 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く



[モチーフ]

●レモン × 6

●ガラスビン × 1

●布

以上

2026年度 美術学科

彫刻コース（彫刻専攻） 一般選抜N全学統一方式（第1期）令和8年2月3日 実技試験問題

[内容] 5時間30分 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モノと空間を描く



[モチーフ]

- | | | | | | |
|----------|---|---|----------|---|---|
| ●木製テーブル | × | 1 | ●マンゴーカズラ | × | 1 |
| ●セローム | × | 3 | | | |
| ●グリーンドラム | × | 2 | | | |

以上

一般 1

日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、
その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合
において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、
必要な問題点を述べてください。

サイトスペシフィック・アート パーティシパトリー・アート エコロジー表現
アーカイブ・アート コラボレーション・アート 共同体 ローカルガバナンス
里山モデル 共鳴 まちづくり ステークホルダー

2026 年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻） 一般選抜 N 全学統一方式（第 1 期） 専門試験併用型入試

令和 8 年 2 月 9 日

実技試験問題

[内容] 5 時間 3 0 分 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く



[モチーフ]

- コスチューム：スウェットシャツ、スウェットワイドパンツ、靴下
- 布を敷いたモデル台（白） × 1

以上

2026年度 美術学科

彫刻コース（彫刻専攻） 一般選抜N全学統一方式（第1期）令和8年2月9日 実技試験問題

〔内容〕 5時間30分 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モノと空間を描く



〔モチーフ〕

- | | | | |
|---------|-----|----------|-----|
| ●木製テーブル | × 1 | ●モンステラ | × 3 |
| ●セローム | × 1 | ●グリーンドラム | × 1 |

以上

2026 年度一般選抜 N 全学統一方式（第 1 期）専門試験併用型
作曲専攻 作曲(80 分)

次の旋律を冒頭におき、フルート独奏(ピアノ伴奏無し)のための小品を作りなさい。



- ・与えられた旋律の()内の音符の長さは自由です。
- ・テンポ、強弱、アーティキュレーション、フレージング、必要な音楽用語なども適宜書き加えること。

その他の注意事項：

- ・小品は、提出用の五線紙に書くこと。
- ・提出用五線紙の表紙に氏名と受験番号を書くこと。
- ・下書き用五線紙は使わなくても構いません。
- ・この用紙と五線紙はすべて回収します。

**2026 年度一般選抜 N 全学統一方式（第 1 期）専門試験併用型
理論専攻 小論文(80 分)**

次の三つのテーマの中から一つを選び、1000 字程度の小論文を書きなさい。
選択したテーマは、答案用紙の題名の欄に記入すること。

1. 私にとって音楽とは何か
2. 現代社会における音楽
3. 理論専攻を選んだ理由

2026年度 一般選抜 N全学統一方式（第1期）専門試験併用型
音楽文化マネジメント専攻
実技（グループディスカッション）

日本社会における音楽や文化の役割とは何か

■令和8年度 一般選抜N 全学統一方式（第1期） 専門試験併用型
演劇学科舞台構想コース 作文課題

「私たちに必要なもの」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。（600字/60分）

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は試験終了後に回収します。

受験番号

氏名

令和8年度 日本大学芸術学部一般選抜之全学統一方式専門試験併用型

演劇学科演技舞踊コース 課題

台詞や身体を用いた自由表現を行ってください。

ただし、次の構成を取り入れること。

入口から入る ↓ 自由表現 ↓ 入口とは別の場所から出る ↓ 終了

※1 時間は3分以内とします。

※2 道具や音楽などを用いることはできません。

2026 一般選抜 演技舞踊コース

試験の進め方

- ① ウォームアップ (10～15分)
- ② 準備時間 (10分)
- ③ 自由表現 (1人3分以内)

① ウォームアップ

1. 空間をランダムに歩く
- 1-2. すれ違う人とアイコンタクト
- 1-3. 歩く速度を「速い⇔遅い」に変化
- 1-4. 歩く速度を「重い⇔軽い」に変化
- 1-5. 元の歩きに戻る
- 1-6. ストップモーション
- 1-7. ストップモーションから床に沈み込む

※歩く速度の変化やストップモーションなどは、試験官が指示する

② 準備時間 (10分)

1. 自由表現について説明する。
 - ・このあと10分間の準備時間を取る。その後、全員部屋の外へ出る。1人ずつ行う。
 - ・時間は3分以内。短く終わっても構わない。
 - ・まず入口から入り、自由表現を行い、入口とは別の出口から出る構成にすること。
「入口」「出口」は具体的でも抽象的な設定でも構わない。
 - ・道具や音楽を用いることはできない。
 - ・演技専攻は何らかの言語表現、舞踊専攻は何らかの身体表現を前提とする。
 - ・準備時間中の質問には答えられない。

③ 自由表現 (1人3分)

1. 1人ずつ部屋に入れ、自由表現を行う。
2. 終わったところで、「今の表現をひとことで表すと？」と聞く。

受験番号【

】氏名【

】

課題A 課題B いずれかひとつを選びプレゼンテーションしてください。

課題A

別紙の戯曲(一部抜粋)を上演するとして、あなたの考えるデザインについて提案してください。デザインは美術、照明、衣裳、音響、舞台監督、上演空間、どんなアプローチでもかまいません。準備時間は60分です。その後、個別に口述で、5分以内で発表してもらいます。

課題B

30年後、日本国内の劇場で標準的な設備となつてると考えられるものについて提案してください。準備時間は60分です。その後、個別に口述で、5分以内で発表してもらいます。

※ 以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※ この用紙は準備時間終了後に、一度回収し、口述発表の前にお戻しします。

※この用紙は準備時間終了後に、一度回収し、口述発表の前にお戻しします。

イアソン ああ、かけがえのない愛しいわが子！

メディア それは母親の私だけが言えること。あなたになんか言わせない。

イアソン ではなぜ殺した？

メディア あなたを苦しめるためよ。

イアソン 頼む。愛らしい唇に最後のキスを。

メディア 追放しようとしたくせに、今さら何を！

イアソン お願いだ。甘く香る柔らかい肌に触れさせてくれ、もう一度。

メディア もう言っても無駄。

イアソン おお、ゼウスよ！ お聞きの通りです。なんとひどい目に遭わされたことか。

あの残忍な牝ライオン、憎むべき子殺しの女に、こんなにも苦しめられることになるなんて。声を限りにわが子の死を俺は嘆き続けるぞ。声を限りに神々に俺は訴え続けてやる。神々よ、どうか証人になりたまえ。

おまえは私の子を殺した。しかも最後の抱擁も埋葬すらも許さない。ああ、子供など作らねばよかった。おまえに殺されその亡骸をこの目でこうして見るくらいなら。

(イアソン、メディア、それぞれ退場)

コロス オリュンポスの頂きに住み給うゼウスの神は

人の世の多くのことを司る。

多くのことに神々は思いもかけない結末を

われら人間に与えるもの。

こうなるだろうと思うことが、そうなることは決してなく

まさかそれはありえまいと思うことを成すのが神。

この物語もその通り。

思いがけない結末を、こうして迎えることとなる。

令和八年度 一般選抜 放送学科専門試験 作文試験問題

作文題名

「色」

六百字
六十分

試験実施日 令和八年二月三日（火）

令和8年度 デザイン学科 一般選抜 専門試験併用型 A 日程 入学試験問題

デッサン(4時間)

用紙: B3画用紙

画材: 鉛筆

【課題】

与えられたモチーフ、「コーヒーサーバー」、「カラー紙袋(緑)」、「キットカットバー」、「ラシャ紙(B4版・グレー)」、「想定 of 立方体」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

【条件】

1. 「想定 of 立方体」は、1辺5cmとし、質感や色は自由に設定すること。
2. 「キットカットバー」は、パッケージを開封せず、配布時の状態のまま使用すること。
3. 「ラシャ紙(B4版・グレー)」は、モチーフの下に敷いてセットすること。
4. モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。
5. 配布された白の台紙は描かなくてもよい。
6. 配布した白いコピー用紙(A3版)は下描きに使ってもよい。
7. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
8. 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。



デザインプレゼンテーション (4時間)

用紙:「B3ケント紙1枚+PMパッド1枚」

画材:鉛筆および色鉛筆

[課題]

**わたしたちを取り巻く自然環境との共生にかかわる問題を見つけ出し、
あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。**

自然環境と共生することの大切さや意味を考慮し、地球上で起きている様々な現象や問題点に対して、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。気づきにくい問題点や素晴らしさに着目し広く知ってもらうための提案(広告や企画も可)でも構いません。

[条件]

1. 答案用紙は2枚あり、PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモ用として自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。
2. 表現方法は自由(筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする。)
3. 用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に答案が被らないようにすること。
4. 用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。

以上

令和8年度 デザイン学科 一般選抜 専門試験併用型B日程 入学試験問題

デッサン(4時間)

用紙: B3画用紙

画材: 鉛筆

【課題】

与えられたモチーフ、「ラムネ飲料」、「ポッキー」、「木柄縄跳び」、「カラーペーパー(A4版・イエロー)」と「想定将球体」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

【条件】

1. 想定将球体は直径5cmとし、質感、色の設定は自由とする。
2. 配布された「木柄縄跳び」は、縄をほどかずに配布時の状態のまま使用すること。
3. 「ラムネ飲料」と「ポッキー」は、パッケージを開封せず、配布時の状態のまま使用すること。
4. 「カラーペーパー(A4版・イエロー)」は、モチーフの下に敷いてセットすること。
5. モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。
6. 配布された白の台紙は描かなくてもよい。
7. 配布した白いコピー用紙(A3版)は下描きに使ってもよい。
8. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
9. 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。



デザインプレゼンテーション (4時間)

用紙:「B3ケント紙1枚+PMパッド1枚」

画材:鉛筆および色鉛筆

[課題]

わたしたちを取り巻く環境と廃棄物（ごみ）にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をきなさい。

環境と廃棄物との関連性を考慮し、人間と両者との間にどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。気づきにくい問題点やこれから起こり得る問題点に着目し、広く知ってもらうための提案（広告や企画も可）でも構いません。

[条件]

1. 答案用紙は2枚あり、PMパッド（薄い紙）1枚はアイデアやメモ用として自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。
2. 表現方法は自由（筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする。）
3. 用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に答案が被らないようにすること。
4. 用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。

以上